

## 「優勝する」「しか勝たん」の新用法

「SNSを中心に流行する表現

——「優勝する」「しか勝たん」の広がりについて——」（夢田杏子）より

①「優勝（する）」「しか勝たん」それぞれの古い実例として次のような用例がある。

(1)「優勝（する）」

「2ちゃんねる」において使われて始め、そこからSNSを通じて広まったと考えられる。用例末尾の（ ）内はツイートされた日時。

・googleMAPで一番やばい物見つけた奴が優勝（2007/4/30）

<https://twitter.com/gotin/status/44599632>

(2)「しか勝たん」

下記の用例が最も古い。

・まち珠理奈しか勝たんから（2016/08/10）

<https://twitter.com/ntpw0624/status/763300837976256516>

※著者のアカウントプロフィールより「珠理奈」とはSKE48メンバーの松井珠理奈を指していると思われる。

2016年にはアイドルについて「推ししか勝たん」といった表現が多く見られ、下記のような類例もある。

・やっぱダンシングヒーローしか勝たんな。ああ推しとダンシングヒーロー踊りたい（2017/12/17）

<https://twitter.com/TEAM8stanao/status/942331329663844352>

② SNS 以外にも見える用例がある。

SNS で使用される「<sup>ハッシュタグ</sup> #」の付された用例がある。たとえば「CAOLABO」いうプリクラ機において文字スタンプ「#うちしか勝たん」が存在する可能性があることや、雑誌に「#かわいいと見せかけて兄機感が優勝」「#令和の仲良し感が優勝」（『JUNON』10月号、発売日2020年8月21日）といった用例があること等を提示して「優勝する」「しか勝たん」はSNSから広がっていったのではないかと考えている。

（紹介者・大島中正）